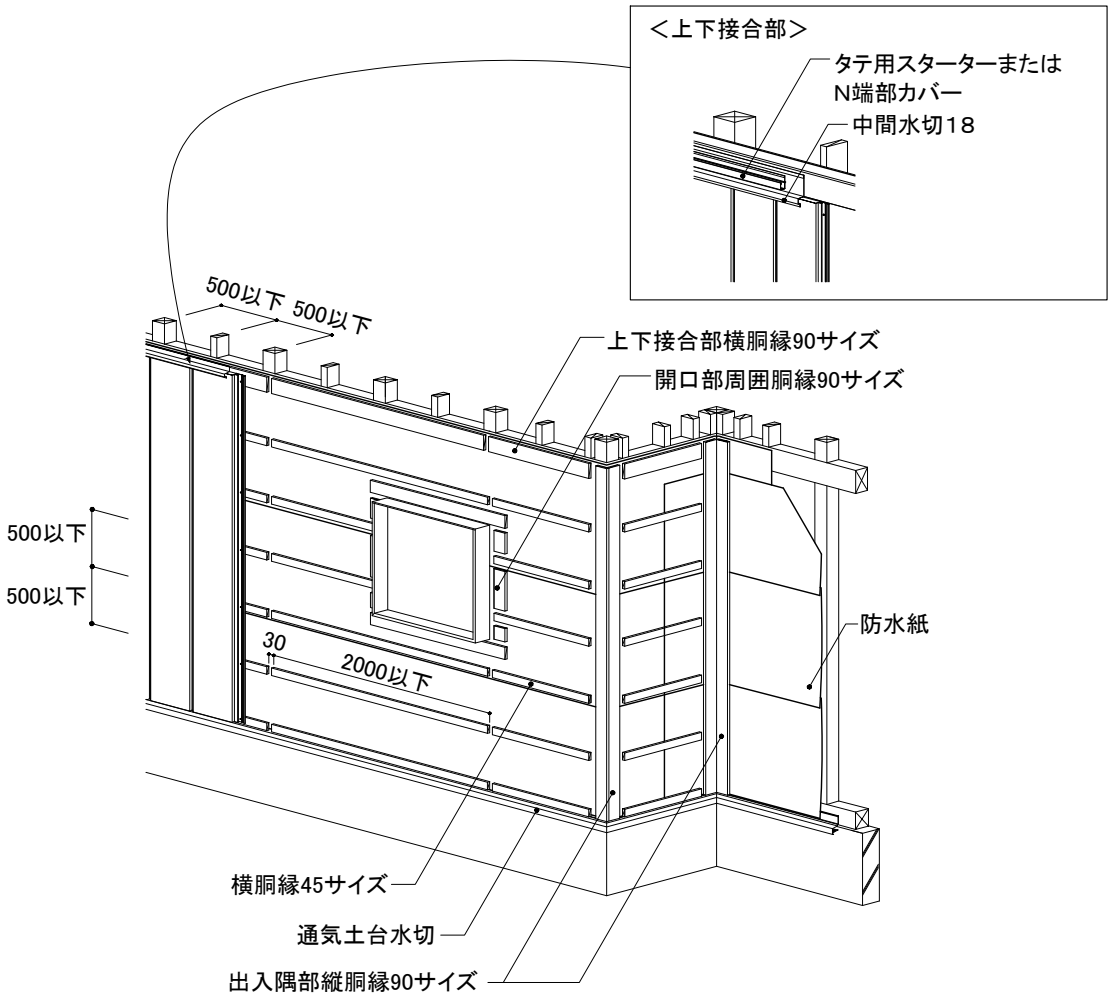
| M型<br>スマートフラット | 下　地 | 留付方法 | 張り方向 | 木胴縁組 |
|---|---|---|---|---|
| | 木造軸組下地 | 釘 | 縦 | 横胴縁<br>@500㎜以下 |

## 1）基本構成図・下地組図

●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●下地は図のように木胴縁を組み、スギ材は厚み18㎜以上、ベイツガ材は厚み15㎜以上の乾燥材を使用します。ただし、耐力面材がない場合は18㎜以上の乾燥材を使用します。
●木胴縁の幅は45㎜以上を標準サイズとし、上下接合部、出入隅部や開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90㎜以上を使用します。
●木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3．8㎜×50㎜以上の木ビスを使用して500㎜以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸（段差）は1．5㎜以下となるように調整して施工します。
●下地組みは必ず通気ができるように、2000㎜以下の間隔で30㎜程度の隙間を設けます。
●横胴縁と開口部まわりの胴縁は30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。




注意　防耐火構造の大臣認定が必要な場合は、胴縁間隔や躯体サイズなど大臣認定別添に従い施工してください。